

ICT(情報通信技術)を活用したビジネスコンテスト 「X-Tech Innovation 2017」を開催

平成30年1月23日(火)、ふくおかフィナンシャルグループ(以下、FFG)は、株式会社北海道銀行、株式会社沖縄銀行と共同開催中のビジネスコンテスト「X-Tech Innovation 2017」の九州地区におけるピッチバトル(最終選考会)を開催しました。



■ ICTを活用した新しいサービス・
ビジネスアイデアを募集

「X-Tech Innovation」は、ICTの急速な進展に伴い、独自性・新規性を有する様々なサービスが続々と誕生していることに着目し、業界・業種を横断する新しいサービス・ビジネスアイデアをスタートアップ企業から広く募集することで、優れたアイデアを発掘・表彰するコンテストです。銀行としてこれらのビジネスアイデアの事業化に向けたサポートや、地域に根差す企業とのマッチング、既存ビジネスへの活用可能性を模索することで、地域経済の活性化への貢献を目指す取り組みとして、今回で3回目の開催となりました。

九州地区の最優秀賞を選出

初開催はFFG単独で、2回目は北海道銀行との共同開催、そして3回目の今回はさらに沖縄銀行を加えての開催となりました。3地区の共通テーマを「IoE(=Internet of Everything)」とし、さらに各地区で個別テーマを設け(九州地区のテーマは「アナログシニア」、この2つのテーマで募集を行い、3地区合計で約80件の応募がありました。九州地区では1次選考(書類)、2次選考(面接)を経て選出された12社が最終選考会に臨み、来場者を前に熱のこもったプレゼンテーションでユニークなビジネスアイデアを発表しました。

そして審査の結果、人工知能不動産分析プラットフォーム「Gate」を運営するリーウェイズ株式会社(代表取締役社長 巻口 成憲)が九州地区の最優秀賞に選出されました。



各地区の受賞者が集まるイベントも開催

さらに、平成30年2月13日(火)には、東京・八重洲の「DIAGONAL RUN TOKYO(以下: DRT)」にて、各地区の受賞者による交流会(受賞者限定のマッチングイベント)を開催しました。DRTとは、FFG設立10周年の記念事業として昨年4月に開設した、全国各地域の人や企業、アイデア、情報をつなぎ合わせて新しい価値を共創するオープンイノベーション拠点です。このコンセプトを踏襲した第2の拠点として、「DIAGONAL RUN FUKUOKA」福岡市中央区西中洲)が今年3月30日にグランドオープンします。

FFGでは今後もICTを活用した先進サービス・アイデアの事業化支援や、大手企業とスタートアップ企業のマッチング機会の提供等を通じて、オープンイノベーションの促進に取り組んでまいります。



■「X-Tech Innovation 2017」の九州地区最終選考会
登壇企業・サービス概要

テーマ	出場者	サービス名
IoT	エーテンプラ株式会社	三日坊主防止アプリ「みんチャレ」
	<最優秀賞> リーウェイズ株式会社	人工知能による不動産取引プラットフォーム「Gate」
	OsidoOri	OsidoOri
	リーボ株式会社	Saney's
	株式会社ファームフェス	「私の農地が気軽に持てる」 農地シェアのグローバルプラットフォーム
	<優秀賞> 株式会社マチマチ	近所のつながりをテクノロジーで作る 「ご近所SNSマチマチ」
	ネオス株式会社	マネー・インパクト!
	Toilet Go	Toilet Go へトイレの食べログ〜
エンタテインメント	<優秀賞> ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社	高齢化における音の ユニバーサルデザインの必要性
	歯っぴ〜	人生100年時代に必要な歯磨きを提供する
	株式会社チカク	まごチャンネル
	ダブルフロンティア株式会社	あなたの街のお買い物代行SNS 「Twidy(ツイディ)」

